

3. きょう土を開く

(1) 戸ノロぜき

水の通る橋

写真からどんなことがわかるか話し合ってみましょう。

右の写真を見ながら、ふしぎに思ったことをみんなで話し合いました。



「山の中を川がぐるっと回って流れているよ。これは何だろう。」



「川の中に門みたいのがあるよ。水を止めているのかな。」



「橋がかかっていて、その中を水が流れているよ。」



「橋の下には、川が流れているわ。川の上にまた川があるんだね。」



「どうして、川の上に水の通る橋なんてつくったのかしら。」



「この橋の中を流れる水は、いったい何に使うのかな。」

いろいろな感想を出し合っていると、先生が次のような話をしてくださいました。

「この橋は、^{いもりやま}飯盛山近くの^{ふどうがわ}不動川にかかっている、戸ノロぜきという^{ようすいろ}用水路の橋です。不動川に^{はじ}初めて戸ノロぜきの橋がかかったのは、今から300年ほど前のことです。」

戸ノロぜきは、どんな人たちが、何のためにつくったのでしょうか。